

## 令和4年度 第46回群馬県中学校 新人バレーボール大会 審判上の確認事項について

- 1 競技は、2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則および2022年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部の6人制ルールの取り扱いを適用する。リベロプレーヤーは、試合ごとに2名まで登録できる。
- 2 服装は、（公財）日本中体連バレーボール競技部『全国大会参加チームのユニフォームの規定について』に準じ、群馬県中体連バレーボール競技部により、以下の通りに規定する。
  - (1) 選手のユニフォームについて、ショートパンツ、ソックスは清潔で同じ色に統一すること。
  - (2) リベロプレーヤーは、正規の選手と明らかに色の異なったもの（対象色）を着用する。判別が難しいと判断された場合は着替えるかりベロベストを着用しなければならない。
  - (3) 監督・コーチ・マネージャーは色の統一されたものを着用する。ただし管理職がマネージャーとしてベンチに入る場合は、この限りではない。また、生徒マネージャーは学校のジャージまたはチームジャージでも良い。
  - (4) ベンチスタッフ・リザーブ選手はマスクを着用する。
- 3 プロトコールについては、別表の通りとする。
- 4 監督及びチームキャプテンは、メンバー表を提出した後、トスの前後に記録用紙にサインをする。また、リベロプレーヤーを登録するチームの監督はその選手をメンバー表に記載しておくこと。
- 5 プロトコール後は、フロアには登録選手と生徒マネージャー以外の部員は立ち入りを認めない。
- 6 ウォームアップエリアを設ける場合において、エリア内でのボールの使用を禁止する。
- 7 セット間は、エンドライン側のフリーゾーンでボールを使用することができる。ただし、選手同士のパス程度の練習とし、チームスタッフがボールを出す行為は認めない。
- 8 スポーツ選手としてふさわしくない行為をしない。（威嚇や暴言、相手に向かってのガッツポーズなど）
- 9 試合中のワイピングは、原則としてコート内の選手がタオルを携帯し行う。モップは必要に応じてタイムアウト中とセット間および審判が必要と判断した場合（範囲が広くタオルでふききれない、など）使用する。
- 10 監督は、自チームベンチ前アタックラインの延長線上からウォームアップエリアまでの範囲内で、立ち上がりあるいは歩きながら指示を出すことができる。ただし、ラリー中はベンチに座る。また、コーチ・マネージャーはタイムアウト中とセット間以外はベンチに座る。

- 12 タイムアウトは、監督がハンドシグナルを明確に示して要求する。
- 13 セット開始時のコート内での円陣などを行う場合は、ラインアップを確認する前に行うこと。
- 14 リベロプレーヤーの交代は、交代する2名がサイドラインで一旦止まり、片方の手を高く上げてから交代する。
- 15 選手交替は、自チームベンチ前アタックラインの延長線上よりも副審側のゾーン(サブスティチューションゾーン)に選手が入ってきた時点で要求があったとみなし、副審は交代のシグナルを明確に示す。
- 16 「給水のためのタイムアウト」は、どちらかのチームが13点を取った際に、副審の合図により行う。給水の場所は、ウォームアップエリア、エリアがない場合はベンチ外側である。その際、ベンチスタッフは着席し、チームへ指示を出すことは認めない。また、生徒マネージャーも給水を取ることを認める。
- 17 「給水のためのタイムアウト」は、選手交替や正規のタイムアウトよりも優先して行われる。もしもそのタイミングでの要求があった場合は、「給水のためのタイムアウト」を取った後、選手交替や正規のタイムアウトを行うことができる。
- 18 熱中症対策として、団扇の使用を認める。使用については、以下の注意点を遵守すること。
- ※なお、チームスタッフ及びリザーブ選手にも適応する注意点である。
  - ・使用は、セット間・タイムアウト・給水タイムアウトのみとする。
  - ・使用場所は、ウォームアップエリアやベンチ周辺とする。
  - ・団扇の数には制限はないが、チームスタッフ及びリザーブ選手が保持することなく、ベンチもしくはウォームアップエリアで保管すること。
  - ・団扇の大きさに規定を設けませんが、極端に大きなものは使用しない。
  - ・団扇にチームのロゴ等が記載されていても構わないが、装飾としての使用は認めない。